

HKS MUFFLER

LEGAMAX
Premium
HKS STYLING PERFORMANCE

取扱説明書

<製品番号 32018-AF011>

DBA-BMM

LEGAMAX Premium



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取説品番 E65400-F42710-00
2013 年 11 月 14 日発行
Ver.No.2-1.0A

HKS MUFFLER

お願い

この度は、弊社製品をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

- ★この取扱説明書は製品を使用する際と自動車に装着する際の
注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、
正しくお使いください。
- ★本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管
しておいてください。

もくじ

	ページ
(1) ご使用の前に必ずお読みください	3~8
●製品の構成部品図	3
●装着可能自動車と製品仕様	4
(2) 製品についてのご説明	9
●マフラー事前認証制度について	10
(3) 使用法	11
(4) 組付法	12~14

はじめに確認してください。

- ★この製品は下記リストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合がある場合は、お買上の販売店までご連絡ください。
- ★装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で排気もれや故障の原因になる場合がありますので注意してください。
- ★取付作業手順は12～14ページにそれぞれ記載してあります。

構成部品及び付属品リスト			
□#1中間パイプ	1個	□ボディブラケット ASSY Front	1個
□#2中間パイプ	1個	□ボディブラケット ASSY Rear	1個
□左メインマフラー	1個	□ボルト M8 P1.25 L20	4個
□右メインマフラー	1個	□インプルナット M8 P1.25	4個
□ガスケット (φ60)	2個	□スプリングワッシャ M8	4個
□リングガスケット (φ65)	1個	□プレーンワッシャ M8	4個
□ボルト (M10 P=1.5 L=40)	4個	□ボルト M6 P1.0 L15	1個
□ボルト (M10 P=1.5 L=25)	2個	□インプルナット M6 P1.0	1個
□ナット (M10 P=1.5)	6個	□スプリングワッシャ M6	1個
□プレーンワッシャ (M10)	12個	□プレーンワッシャ M6	1個
□スプリングワッシャ (M10)	6個	□サーモシール (300×300)	1枚
□ラバーステー	4個	最小限必要な工具	
□ステッカー	1枚	めがねレンチ14	2本
□取扱説明書 (本書)	1部	めがねレンチ12	1本
□保証書	1枚	めがねレンチ10	1本
		φ10.2ドリル(鉄工用)	1本

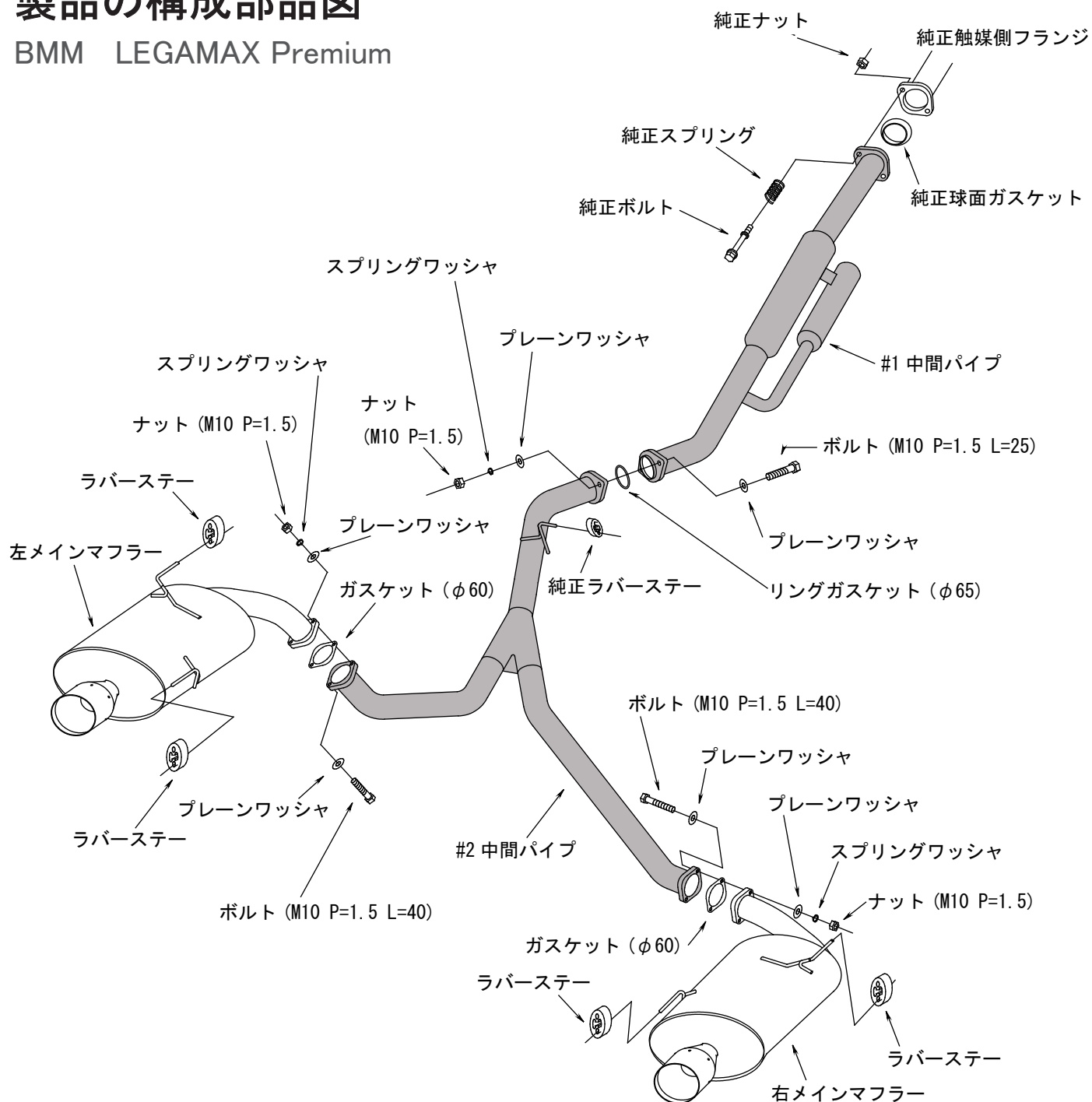
HKS MUFFLER

(1)ご使用の前に必ずお読みください

必ずお読みください。

製品の構成部品図

BMM LEGAMAX Premium



必ずお読みください。

装着可能自動車と製品仕様

- ☐ 車 両 : スバル レガシィB4
- ☐ 車 両 型 式 : DBA-BMM
- ☐ 年 式 : '12/05～
- ☐ エ ン ジ ン 型 式 : FB25(NA)

（適合車両の年式は、2013年12月までのものです。2014年1月以降に登録された車両への適合については、お買上の販売店にお問い合わせください。）

- ☐ 製 品 名 称 : LEGAMAX Premium
- ☐ 製 品 番 号 : 32018-AF011
- ☐ 性能等確認済表示 : JQR40134210
FB25

* 性能等確認済表示については、インターネット上で公開されています。

<http://www.jqr.co.jp>

- ☐ 製品装着後の自動車の : ホイールベース間 約144mm (純正箇所)
最低地上高 トレッド間 約161mm

●本製品は道路運送車両法保安基準について、国土交通省が定める「マフラー事前認証制度」による確認機関（株式会社 JQR）の確認を受け、認証されています。
本製品には、メインマフラー本体に性能等確認済表示プレートが容易に外れない方法により取付けられています。
また、製品の加工、改造等を行なうと保証の対象外となります。

HKS MUFFLER

「安全にご使用いただくために」 必ずお読みください。

- 弊社の「取扱説明書」には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

本書中のマーク説明（表示と図記号）

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。
お願い	この表示を無視して誤った取扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び利用できない機能や事項などの内容を示します。



警告

- 自動車のマフラーの交換は本来、設備の整った自動車整備工場で、専門の教育を受けた整備士が行なうべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があって危険です。

一酸化炭素中毒防止



警告

- エンジンをアイドリングしたまま、休憩や仮眠をすると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。
必ずエンジンを停止してください。
- 排気ガスには有毒な成分が含まれています。締め切った車庫や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。
必ずエンジンを停止してください。
風向きにも注意してください。
- マフラーのテールパイプからは有毒な排気ガスが排出されます。停車または駐車中に車の後ろに人がいたり特に幼児やペットをおいてエンジンを動かし続けると一酸化炭素中毒の危険があります。
必ずエンジンを停止してください。
風向きにも注意してください。

触れると火傷



警告

- エキゾーストマニホールド、触媒コンバーターは特に高温になっていて触ると大火傷の恐れがあります。
- エンジンが動いている時あるいはエンジンを停止した後はエキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒、マフラーは高温になっています。特に後端のテールパイプの部分は自動車の外に露出していて触れやすいので、気をつけてください。
触ると火傷の危険があります。
- お子様には特に注意してください。またトランクから荷物を出し入れするとき、衣服がテールパイプに触れると焦げたり溶けたりすることがあります。停車、駐車する際には周囲に気をつけてください。

HKS MUFFLER



警告

- エキゾーストマニホールドなどにオイルやブレーキ液をこぼすと火災の恐れもあります。
- 弊社のマフラーを装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。
- 自動車の排気関係の部品は正しい取扱いをしても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で消音性能が劣化したり、製品が腐食して穴があくことがあります。このような場合は速やかに販売店や整備会社に相談していただき、製品本来の性能が失われていたら弊社の製品に交換してください。腐食を放置すると排気ガスが車体の下部などにもれて火災の危険があると同時に、整備不良車運行で運転者が罰せられることがあります。
- 自動車の安全な整備はドライバーの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止をはかる上で必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期部品交換は、必ず実施してください。
- マフラー交換は自動車の床下作業が多いので持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると危険です。
必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
『2柱式リフト』をお薦めします。
やむを得ずガレージジャッキを使用する場合は必ずリジットラック（うま、安全スタンド）を併用して安全に作業してください。
車載ジャッキでの作業は危険なので絶対にお止めください。
- マフラー交換は離れた箇所を同時に締付ける作業や重いマフラーを下から支えている作業が多いので、1名で作業すると危険です。
2名以上で行なってください。
- 排気関係の部品は熱いので触ると火傷します。必ず、冷えてから作業してください。手の火傷を防ぐために作業用の手袋を着用してください。



警告

- 排気関係の部品は錆びてボルトやナットがゆるみにくいことがあります。スプレー式等の浸透性潤滑油を使用し、適正な工具を使用して無理のない作業を行なってください。
特に手の怪我を防ぐために作業用の手袋を着用してください。



注意

- 弊社のマフラーは耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、自動車の使用条件が悪いと思ったより早く腐食して穴があくことがあります。また、石等と接触し、破損して穴があくこともあります。いずれも排気ガスもれの原因となりますので十分に注意してください。
- 弊社のマフラーは自動車メーカー純正の触媒を残して、その後の部分を交換する製品です。触媒を外したり触媒の内部破損などを行なうと違法であると同時に環境汚染につながります。絶対に行なわないでください。
- 取外した純正マフラーを保管する場合は、マフラーは、出来るだけ短く分解して横置きで保管してください。長いまま立てかけて保管すると倒れて危険です
- 自動車の排気部品は高温になります。枯れ草などの燃えやすいものの上にエンジンを動かしたまま、または停止直後に停車や駐車すると火災の危険があります。必ず自動車の下に燃えやすいものがないことを確認してから停車、駐車してください。

HKS MUFFLER

ご使用の前に必ずお読みください。

(2)製品についてのご説明

- この製品は、国土交通省令で定める道路運送車両の保安基準第30条(騒音防止装置)・第31条(ばい煙、悪臭のあるガス、有毒のあるガス等の発散防止装置)について4ページに挙げる車両に装着された際に、改造申請等の事前手続きは一切必要ありません。
- しかし上記の車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行なった場合は、法令等で定められた試験を実施し、改造申請等の手続きが必要となる場合がありますので、詳細はその製品に備付けの取扱説明書等をお読みください。
- この製品は、標準車における自動車製造メーカー純正部品との交換を対象としたものであり、その他の改造等を行った場合は、その適合性を満たすものではありません。
- この製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
 - This product is designed for use in Japan only.
 - It must not be used in any other country.
- お客様ご本人または第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使用やその使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた損害については、弊社は一切、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- この製品及び付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、改造自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請等の届け出をして検査合格後にご使用下さい。但し、その場合、自動車が損傷することがありましても弊社は一切、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 法令により、一部車種を除いて国土交通省令で指定を受けた触媒を外した自動車を運行することができません。

マフラーの概要

弊社のマフラーは理想的な排気効率、軽快な音質、優れた耐久性・消音性を確保した高音質なマフラーです。消音器内部の構造は車種、エンジン別に設定し優れたエンジンレスポンスを実現します。また、大口径マフラーにありがちな最低地上高の問題に関しても独自の設計構造により対処しています。



警告

エキゾーストマニホールドやマフラーの交換は本来、設備の整った自動車整備工場等で、専門の教育を受けた整備士が行なうべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があり危険です。装備作業は専門の整備工場等に依頼してください。

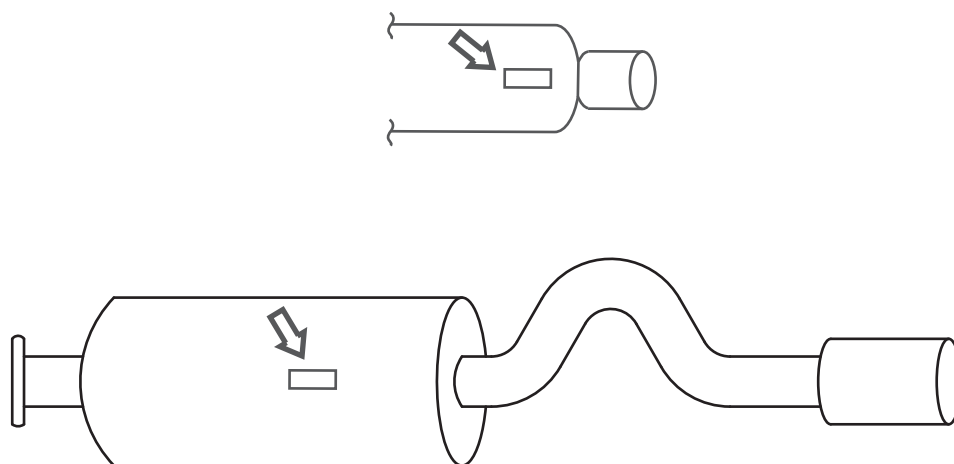
ご使用前に必ずお読みください。

マフラー事前認証制度について

- 本製品は、確認機関の確認を受け、本書に記載された適応車種に正しく装着された場合は、ご使用に際して改造申請等の手続きは、一切必要ありません。

- 性能等確認済表示は下図に示してあります。

性能等確認済表示プレート位置



メインシェル下側に取付けられています。

★製品に関してのお問い合わせは、お買上の販売店にお願いいたします。

HKS MUFFLER

ご使用の前に必ずお読みください。

(3) 使用法

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- マフラーは正しい使用法を守り、本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。
- 使用の際に、むやみに空ぶかしや長時間にわたるアイドリングはお止めください。消音能力低下や停滞した排気の熱害でエンジンルームの電装品等、補機部品が故障することがあります。



警告

- 弊社のマフラーを装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。

- 塩分や湿気の多い場所での保管や放置は避けてください。機能低下や腐食の原因になります。
- ジムカーナやサーキット走行等の特殊な用途の使用では製品の耐用期間が著しく低下しますのであらかじめご了承ください。
- 不要になった自動車部品を破棄する場合は自動車整備工場や自動車部品解体業などの専門家に相談してください。

(4)組付法



警告

作業中の
怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。

【(1) ご使用の前に】を十分に理解したうえで実施してください。

作業前に必ずお読みください。

お願い

- 作業の前に念のため、自動車と製品が間違いなく適合するか？
車検証と本書、製品の性能等確認済表示プレートを確認してください。
- 純正マフラーの取外し作業は自動車メーカーの作業手順通り作業してください。
- 純正品と弊社製品作業手順が異なる場合があります。その場合は、本書に記載された作業手順をよく読んで、理解してから作業してください。

【(1) ご使用の前に】を十分に理解したうえで実施してください。

お願い

- 製品を装着前及び装着の際に、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
装着不良で排気ガス漏れや故障の原因になることがありますので注意してください。
- フロントパイプ、エキゾーストマニホールド、触媒等を純正部品以外のものと交換している場合、弊社のマフラーとの組合せで、排気効率が著しく改善され、自動車の性能が向上し、場合によってはエンジン等の破損につながる場合があります。事前に、販売店等に相談したうえで、正しくお使いください。

★作業の方へお願い



注意

- 取外した純正マフラーを保管する場合は、マフラーはできるだけ短く分割して横置きで保管していただくよう、お客様に指導してください。
長いまま立てかけて保管すると倒れて危険です。

お願い

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

★作業の際に必ず下記の点検をしてください。

- 純正のマフラー吊り下げ用ラバーステーに割れ、ひびなどの劣化が生じていたら、純正品の新品に交換してください。
- 再使用する純正のガスケットも十分に点検して、不良の場合は純正品の新品に交換してください。

HKS MUFFLER

レガシィB4 BMM FB25(NA) LEGAMAX Premium

組付作業手順



警告

作業中の
怪我・火傷

※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味。

1. 『ボディブラケットの取付』

(1)ボディブラケット取付説明書(本書後半)に従い、ボディブラケットAssy Front、Rearを取付けてください。

2. 『#2センターパイプの仮組付』

(1)#2センターパイプを正規の位置に合わせて、#2センターパイプに付いている吊り下げ用フックを、純正のラバーステーにはめておいてください。

3. 『#1センターパイプの仮組付』

(1)触媒後部フランジと#1センターパイプ前部フランジの間に純正ガasketを挟み、純正のボルトに純正スプリングを入れ後側から通し、反対側から純正ナットで取付けて仮締付けしておいてください。

(2)#1センターパイプ後部フランジと#2センターパイプ前部フランジの間に付属のリングガasket(φ65)を挟み、付属のボルト(L=25)にプレーンワッシャを入れ前側から通し、反対側から付属のプレーンワッシャ、スプリングワッシャ、ナットの順で取付けて仮締付けしておいてください。

お願い

●吊り下げ用ラバーステーは純正品を再使用してください。

4. 『左右メインマフラーの仮組付』

(1)各メインマフラーを正規の位置に合わせて、メインマフラーに付いている吊り下げ用フック2ヶ所を付属ラバーステーにはめておいてください。

(2)#2センターパイプ後部フランジとメインマフラー前部フランジの間に付属のガasket(φ60)を挟み、付属のボルトにプレーンワッシャを入れ前側から通し、反対側から付属のプレーンワッシャ、スプリングワッシャ、ナットの順に取付けて仮締付けしておいてください。

お願い

●バンパー右側に付いているテール切欠きのカバーは外しておいてください。

5. 『全体の本組付』

(1)メインマフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガasketのずれを確認しながら仮締付けしてあったボルトとナットを指定トルクで締付けてください。

〔 締付けトルク M10 T=29.4~34.3 N・m
(T=3.0~3.5kgf・m) 〕

(2)テールパイプと自動車のバンパの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合があったら最初から締めなおしてください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパの場合熱で溶けることがあります。

6. 『装着状態の確認』

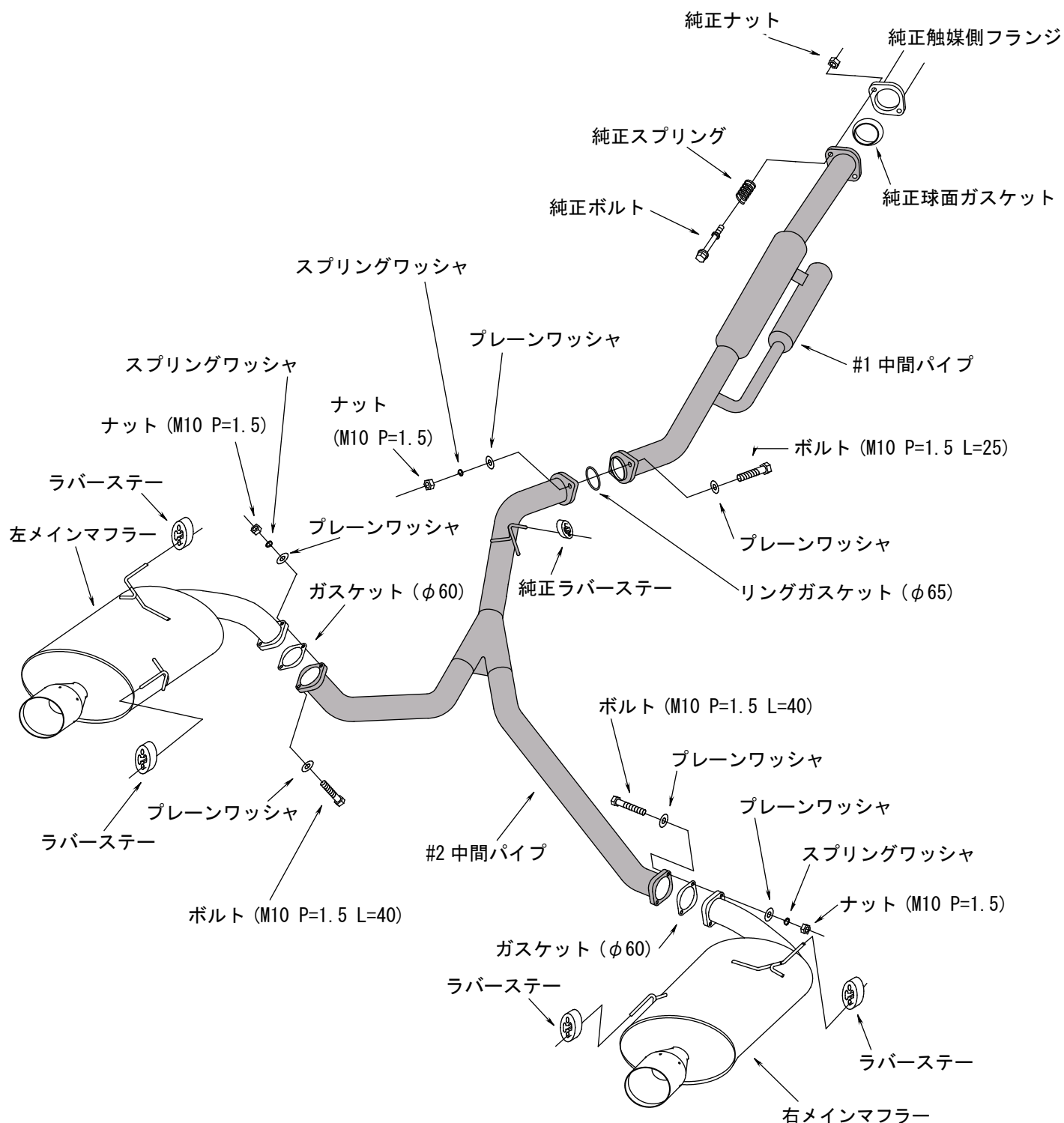
(1)全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。

(2)エンジンを始動して暖機し、約2,500回転にして各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。

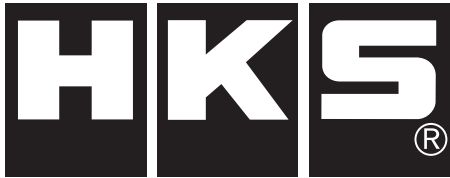
(3)試運転して再度、各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。

(4)(1)~(3)の項目に異常があった場合、最初から装着をやりなおしてください。

BMM LEGAMAX Premium 組付図



以上で弊社マフラーの装着が完了しました。もう一度、本取扱説明書をよく読んで、安全で快適なドライブをお楽しみください。



スバル BRM/BMM

ボディブラケット

32018-AF010・32018-AF011同梱品

取付・取扱説明書

この取付・取扱説明書をよくお読みになり、当商品の内容をご理解された上で取付・取扱いを正しく行ない、ご使用くださいますようお願いいたします。

また、今後のメンテナンスの為に、この取付・取扱説明書は、お客様のお手元に置かれ、大切に保管しておいてください。

注意事項とお願い

●この取付・取扱説明書には次のマークを使用しています。



警告



注意

警告、注意は特に重要な事項です。
必ず読んでお守り下さい。



警告

..... 安全の為に必ず守って頂きたいこと。
守らないと死亡や重大な障害につながる恐れがあります。



注意

..... 安全の為に必ず守って頂きたいこと。
守らないと障害や事故につながる恐れがあります。



アドバイス・・・取付けの為に守って頂きたいこと。

- 記載事項に従わない取付けを行なった場合は、当商品の機能等を阻害するばかりではなく、車両等の不具合につながる恐れもありますので、絶対に行わないで下さい。
- 車両装着前に当商品の「外観キズ」「部品欠品有無」を必ずご確認ください。装着後のこれらの不具合につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当商品は取付時・取付後に発生した、いかなる不具合につきましても、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 一部車両において、車体フレームに加工を施すこととなりますので、将来、お車の査定に対して不利に働く恐れがあります。予めご了承ください。

この取付・取扱説明書は必ずお客様に渡してください。(大切に保管してください。)

お客様へ

■取扱い上の注意

注意

1. 当商品は適合車両以外には絶対に使用、取付けをしないでください。破損や事故の原因となる場合があります。
2. 当商品の加工、分解は絶対に行わないでください。
3. 当商品を装着後、運転中に異常が発生した場合は、直ちに車両を止めて整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故につながる恐れがあります。
4. 当商品は取付状態も含め、いつも正常な状態を保つよう必要に応じて車両の点検を行なってください。
5. 劣化、破損などにより本来の状態を維持していない場合は、速やかに交換を行なってください。

■部品適合表

当商品の装着は、次の適合表に合ったもので行なってください。

車 種 名	型 式	製品番号
レガシィ	BRM/BMM	32018-AF010/32018-AF011

■その他

- 当商品は32018-AF010/011との組合せの場合のみ適合としています。他社製品の排気管との組合せでは車体に干渉する場合があります。当社ではそれらの仕様について、一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

取付上の注意

警告

1. 事故防止のため、車両への取付けは必ず手順に従って行なってください。

注意

2. 火傷等を防止するため、車両、エンジンを停止し、マフラーが完全に冷えてから作業を行なってください。また作業時は必ず防護眼鏡等を着用してください。

アドバイス

3. ボディとボディブラケット本体に油分・汚れ等があると、正しく装着できない場合があります。必ず油分・汚れ等を拭き取ってから作業を行なってください。
4. 当商品の取付けは、認証工場での装着を推奨致します。

パーツリスト

連 番	品 名	数 量	備 考
1	ボディブラケット ASSY Front	1	
2	ボディブラケット ASSY Rear	1	
3	六角ボルト M8 P1.25 L20	4	M8 P=1.25 L=20
4	インプルナット M8 P1.25	4	M8 P=1.25
5	スプリングワッシャー M8	4	
6	プレートワッシャー M8	4	
7	六角ボルト M6 P1.0 L20	1	M6 P=1.0 L=20
8	インプルナット M6 P1.0	1	M6 P=1.0
9	スプリングワッシャー M6	1	
10	プレートワッシャー M6	1	
11	サーモシール	1	300×300
12	取扱説明書	1	

*32018-AF010/32018-AF011 の場合はキット添付品に含まれます。

取付手順

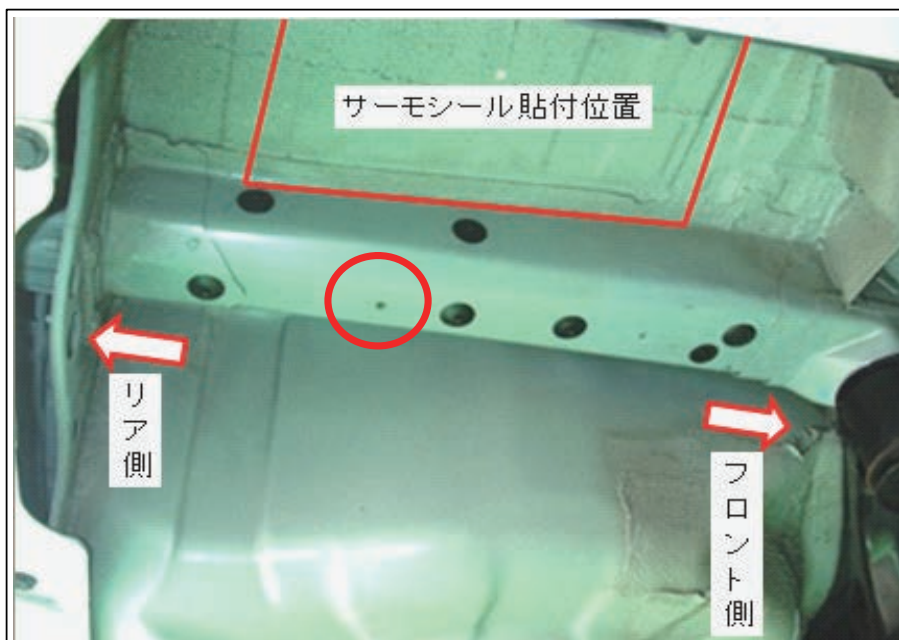


図1-1

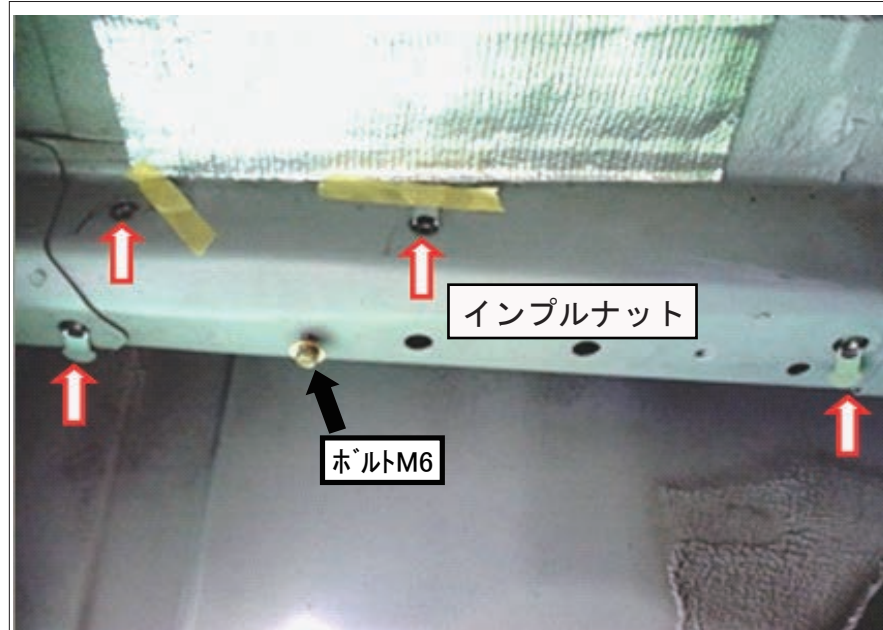


図1-2

1. 組付準備（タップ無）

※図 1-1 の丸印部分に M6 P1.0 のタップが切られていない車両へ本品を装着する際には車両フレームに開けられた穴を拡大加工する必要があります。また、フレームに加工を施すこととなりますので、将来、お車の査定に対して不利に働く恐れがあります。予めご了承ください。

- (1) 車体右側の右メインマフラーを収めるスペース内のフレームに付いているグロメットを全て外してください（7個）。 * 図 1-1 参照
- (2) 図 1-1 に図示している箇所のホコリや油分などの汚れを取り除き、付属のサーモシールを貼付けてください。 * 図 1-1 参照

- (3) 図 1-1 丸印部分のφ7 穴を電動ドリル等でφ10.2 まで拡大加工してください。
(φ10.2 のドリルがなければφ10.5 でも可)
- (4) フレーム内面、外面のバリを除去して、防サビ塗料等でサビ止め処理を行なってください。
- (5) 図 1-2 に示す 4 箇所付属のインプルナット (M8) を挿入し、タブを手前に引きながらめくり、ナットの凸部をグロメット穴に合わせてタブを折り曲げてください。また、φ10.2 に拡大加工した穴に付属のインプルナット (M6) を挿入し、タブを手前に引きながらめくり、ナットの凸部を加工した穴に合わせてタブを折り曲げてください。

*6. インプルナット組付方法参照

この際、フレーム側面の 2 箇所では自重によりナットが落ちてしまうので、マスキングテープ等で仮固定してください。

(タブ自体がストッパーとなり、グロメット穴に引っかかるので、フレーム内にインプルナットが完全に落ち込むことはありません)

2. フロントブラケットの仮組付け

- (1) 付属のボルト (M6) を加工した穴に挿入したインプルナット (M6) に仮締め付けしておいてください。(フレームとボルト頭との隙間を5~10mm程度にしておいてください。)
- (2) ブラケットの吊り下げ用フックに32018-AF010/011に付属のラバーステーをはめておいてください。
- (3) ブラケット後部の長穴をM6ボルトとフレームの間に入れ、ブラケットとインプルナットの穴位置を合わせてください。
- (4) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、図2のようにブラケット穴の残り 2 箇所に入れ、ブラケット、フレーム、インプルナットの順に取り付けて、仮締め付けしておいてください。



図2

取付手順

3. リアブラケットの仮組付け

- (1) 2. (1) で仮締め付けした M6 ボルトをいったん外してください。
- (2) ブラケットの吊り下げ用フックに 32018-AF010/011 に付属のラバーステーをはめておいてください。
- (3) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、フレーム下面後方のインプルナットに仮締め付けしておいて下さい。
(フレームとボルト頭との隙間を 5 ～ 10mm 程度にしておいてください。)
- (4) 図 3 のようにブラケット後部の長穴を、仮締め付けしたボルトとフレームの間に入れ、ブラケットとインプルナットの穴位置を合わせてください。
- (5) 付属のボルト (M8) にスプリングワッシャ (M8)、プレーンワッシャ (M8) を順に通し、フレーム側面のブラケット穴に入れ、ブラケット、フレーム、インプルナットの順に取り付けて、仮締め付けしておいてください。
- (6) 付属のボルト (M6) にスプリングワッシャ (M6)、プレーンワッシャ (M6) を順に通し、ブラケット前部の長穴とフロントブラケットの長穴を通し加工した穴に挿入したインプルナット (M6) に仮締め付けしておいてください。



図3

4. 本組付け

- (1) 自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランスおよび、インプルナットのずれを確認しながら、仮締付けしてあったボルトとナットを指定トルクで締付けてください。

締付トルク N・m(kgf・m)

M8 T=19.6~24.5N・m (T=2.0~2.5kgf・m)

M6 T=7.8~9.8N・m (T=0.8~1.0kgf・m)

5. 装着状態の確認

- (1) 全体の本組付けが完了したら、ブラケットを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出る事があります。

図4：取付完成図

以上で弊社ブラケットの装着が完了しました。なおマフラー本体の装着に関しては、マフラー本体の取扱説明書(32018-AF010/011)をご確認下さい。



6. インプルナットの組付方法

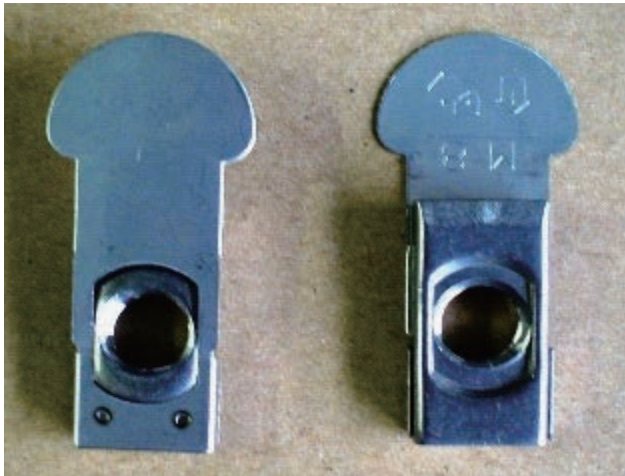


図6-1. インプルナット

(1). グロメット穴にインプルナットを挿入



図6-2

(2) タブを手前に引きながらめくり、ナットの凸部をグロメット穴に合わせてタブを折り曲げてください。

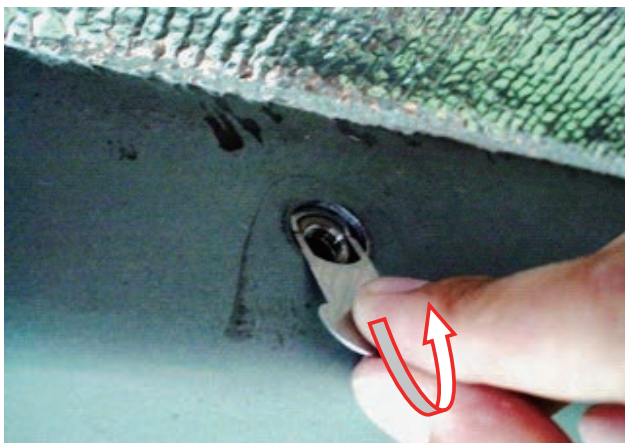


図6-3

(3) 図6-4の場合（フレーム側面の2箇所）ではインプルナットの自重によりナットが落ちてしまうので、マスキングテープ等で仮固定してください。



図6-4



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192

静岡県 富士宮市 北山 7181

<http://www.hks-power.co.jp/>